

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	55
学校名	富山県立高志支援学校

学校の現状と課題	本校は、肢体に不自由のある児童生徒を教育の対象とした学校であり、障害の多様化・重度化が進んでいる。ICTを活用することにより、児童生徒の自立と生活の質(QOL)の向上を促すことが期待でき、教員個々のICT活用能力の向上が求められている。	
テーマ(特色)	教員のICT活用技能の向上とICT環境の整備	
設定した「テーマ」の達成状況	ICTを活用した授業に関する調査結果を昨年度と比較すると、以下のとおり、授業での活用率に改善が見られた。 ・担当する7割以上の授業でICTを活用する教員の割合 R2・39% → R3・49% ・ICTを全く活用しない教員の割合 R2・26% → R3・22%	
実施内容(具体的に記入する)	1 「ICTの活用による学習課題の充実」を研修主題として、招へいた外部指導者(富山大学准教授)にICTを活用した提案授業を参観してもらい、授業に関する指導助言をいただいた。1回目は9月に、2回目を11月に実施し、各学部一つの授業を観てもらい、1回目と2回目は同じ授業を同じ教員が担当した。70名の教員が参加した。 2 「プログラミング学習用教材」を研修主題として、プログラミング学習用教材の操作方法やそれを活用した授業の紹介を行った。5月は、既存のAppleTV等の機器の操作方法を学び、教員50名が参加した。1月は、本事業の予算で購入したプログラミングロボットやプログラミングカーの操作方法を学ぶとともに、それらを活用した授業の事例から効果的な学習方法を研修した。教員10名が参加した。	
取組による成果(プロジェクト学習推進の観点から)	・ICTを活用した授業が増えたことにより、肢体に不自由がある児童生徒がより意欲的に授業に参加し、満足感や達成感を味わうことができるようになった。 ・授業で活用できるICTの環境整備が進み、機器の種類や数が増えた。 ・教員のICT活用の意識が高まるとともに、機器等の操作技能の向上を図れた。	
対象者(学年・人数など)	※実施内容に記載	
実施実績	4月	
	5月	本校教員による課題説明に関する研修会の開催①
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	外部指導者を招へいた課題説明に関する研修会の開催①
	10月	
	11月	外部指導者を招へいた課題説明に関する研修会の開催②
	12月	
	1月	本校教員による課題説明に関する研修会の開催②
	2月	
	3月	